



'To acknowledge the duty that accompanies every right'  
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

# THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA  
 1-5-6 TOSABORI, NISHIKU,  
 OSAKA, JAPAN

2015年11月No.402

Chartered July 20, 1982

主 題 Y's THEME (2014~2015)	クラブ役員 Officers
センテニアルクラブ会長 : 『楽しくそして魅力ある活動を!』 国際会長 : 『信念のあるミッション (使命・目標)』 アジア地域会長 : 『愛をもって奉仕しよう』 西日本区理事 : 『あなたならできる! きっとできる』 中西部部長 : 『和を以って貴しとなす』	会 長 : 何 早林 副会長 : 藤井 大祐 書 記 : 藤原 正巳 ドライバー : 松浦 孝次 会 計 : 大村 肇 メネット会長 : 中村 幸枝 Y連絡職員 : 池田 聡美

## Biblical Message of November

「杖を高く上げ、手を海に向かって差し伸べて、海を二つに分けなさい。そうすれば、イスラエルの民は海の中の乾いた所を通ることができる」

(出エジプト記 14章 16節)

### 山羊ひげ芸術論

松田 明久

実業家は学者ほど愚かなものではないという。「実業界では西というたら東とさとれ」という。実業家に言わせると学者は西というたら西のことだと思ふから愚かであるという。それはともかく.....

誰も知らない美をつくり出す場合に、それを手ほどきして教えてくれるものはない。あればそれは未知にならないからあたり前であるが、新しい美をあみだそうとするには美しいと思われていなかったものを、新しい解釈によって美につくりあげるしかない。美しいと思われていないものは何か、これを見つけ出すうまい方法がある。美術や美術の解説書を見れば簡単に分かる。つまり、書物に美術とはかくかくのものであるとか、かくしなければ美術にならないとか、所謂決まり事が多数存在している。その反対のことに着眼したら良いのだ。つまり、「西というたら東とさとれ」である。

(次号は岡本剛介さんです)

## November Club Meeting

『Public Relations Wellness』

11月第1例会 (カニ例会)

日 時 : 2015年11月22日 (日) 18時 ~23日 (月・祝)  
 場 所 : 城崎温泉椿野旅館 (0796-32-2131)

企画/司会 : 芝田 光雄 君

- |                |              |
|----------------|--------------|
| 1. 開会          | 何 早林 会長      |
| 2. ワイズソング      | 一同           |
| 3. 聖句朗読        | 中村 茂高 君 (代 ) |
| 4. ゲスト紹介       | 何 早林 会長      |
| 5. 晚餐          | 一同           |
| 6. 連絡・報告・ニュース  | 各メンバー        |
| 7. 誕生祝い・ニコニコ献金 | 一同           |
| 8. 閉会          | 何 早林 会長      |

【内容】

22日 18時=カニすき例会

23日 8時発、コウノトリ文化館、植村直己冒険館訪問  
 13時解散

参加費 : 1人 26,000円 (宿泊・食事代) ※交通費、酒代、入場料別

お誕生日 : 11月=山中、松浦両メネット、山中メン (お祝いは12月)

例会担当 : 第3班=石津、岡本、隅田、谷川、松浦の各メン

## 11月第2例会

日時 : 2015年11月25日(水) 18:30~20:30

場所 : 土佐堀YMCA会館4階



## 【クラブ統計 Statistics】

10月	種 別	第1例会	第2例会	BFポイント	ニコニコ献金
在籍会員 19名	メ ン	12名	9名	10月 Og	10月 : 13,200円
例会出席 13名	メネット	2名	0名	現 金 0円	
うちメーキャップ 0名	ビジター	0名	0名	累 計	累 計 : 49,000円 ファンド累計 0円
出席率 68.4%	ゲ ス ト	3名	0名	切 手 204g	
	合 計	17名	9名	現 金 0円	

On October 21, our club's October meeting was held at "Unoya Restaurant" at Hilton West Plaza with a total of 17 Y's men, Y's menettes, and guests in attendance.

The highlight of the meeting was speech made by Mr. Hiroya Noguchi, senior sommelier of the Suntory Corporate Business Company in Osaka. Mr. Noguchi spoke about the theme, "Charm of wine." To begin with, he gave us a trial tasting the following 4 different red and white wines of the world.

1. Steinberger Riesling 2012, Germany
2. Chablis 2013, France
3. Bourgogne Rouge La Vignee 2013, France
4. Chateau D'Arvigny 2011, France

Explaining main feature of these wines, he told us how to enjoy wine. The manner he suggested was that at first, look at the color of wine, rotate it on a table, smell it and then taste it while inhaling air. Everybody made his or her comment on which one was the best to them. He also told us how to select tasty wine. He says any wines of 7 to 8 years old are "generally" most tasty. It would be better for us to drink inexpensive wines shortly after purchasing them, as they are degrading after the lapse of time. He covered many other interesting topics on the wine. We fully enjoyed above mentioned wines with tasty dishes specially selected by Mr. Noguchi and learned a lot from him. Yen 13,200 was collected for the club's smiling fund.

200 万のイスラエルの民衆の後ろに迫るエジプトの軍勢を背に、モーセが紅海の岸に立ち、杖を差し伸べ、海が二手に分かれる名シーン。明らかな神の救いを体験しながら、長年にわたりイスラエル民族は、幾度も神を疑った。それでも水がないと言えば、神は岩から水を与え、お腹がすいたと言えば天からマナを降させた。またうずらの大群を与え肉とした。

神の恵みをすぐに忘れて文句ばかりを言う。このイスラエルの民こそが人間の姿そのものである。なんと神は忍耐強く私たちを守ってくださることだろう。

(聖句選/コメント：中村 茂高)

(次号は松浦孝次さんです)

## 10 月第 1 例会報告

と き：10 月 21 日 (水) 18:30~20:45

ところ：卯乃家ヒルトンプラザウスト店

3 月のマッサン・ウイスキー例会に引き続き、サントリーのシニアソムリエの野口博也さんを講師にワイン例会を開催しました。昨年 4 月例会と同じ卯乃家で、ゲストの中村舞さん、土佐堀クラブの工藤義正メンを迎え 17 名が参加。

ワインの代表的産出国フランス。ボルドー地方や最高級のワインの「ロマネコンティ」を産するブルゴーニュ地方はことに有名。日本の酒蔵が 1,500 に対し、ボルドーだけでも 5,000 のシャトウ(醸造所)があるとのこと。ワインの香りを表現する時、もともとのブドウ自体から生まれる「アロマ」と、熟成中にさまざまな香りが混ざり合う「ブーケ」があるそうです。ワインは樽ではなく、瓶の中で熟成するため、空気に触れて酸化しないよう、コルクやキャップで蓋をすること。ワインにはそれぞれ寿命があり、30、40、50 年を経ておいしくなるものもあれば、ポージョレヌーポのように出来た年にすぐ飲むものなどさまざま。野口さんは「7、8 年もの」が一般的に美味しいと語ります。4 種類の白と赤のワインをいただき、それに合った料理に舌鼓を打ちながら、「ノグチ・ワールド」に引き込まれ、ワインを堪能しました。ワインの銘柄は次のとおり

1. スタインバーガーリースリング 2012 年、ドイツ
2. シャブリ 2013 年、フランス
3. ブルゴーニュ・ルージュラヴィニエ 2013 年、フランス
4. シャトーD'Arvingny 2011 年、フランス

(中村 茂高)



ついついノグチ・ワールドに引き込まれてしまう



私たちが飲んだ 4 種類のワイン

谷川 寛

エルサレムの旧市街を見下ろすオリーブ山には、色々な教会が建っており、イエスの足跡が数々残されています。

イエスがオリーブ山からエルサレムを眺め、その滅亡を予言し、涙したといわれた場所に“主の涙したチャペル”(Chapel of Dominus Fleuit)があります。(ルカ福音書19:

41-44) 中世の聖地巡礼者が、なんとイエスが座り、涙した石を見つけたそうです。そこに建てられたのが、このチャペルで“涙の粒”をかたどっており、非常に可愛い形の教会です。

(写真、その1) その教会の祭壇の後ろにある大きな窓から旧市街を一望できます。遠景に岩のドームも見えます。息を飲むような光景です。

同じくオリーブ山の急斜面に忽然として建っているのがマグダラのマリア教会(Church of Mary Magdalene)です。金色のタマネギを載せたような7つの円屋根を持つロシア正教の教会

(写真、その2) です。1885-88年、ロシア皇帝アレクサンドル3世がマグダラのマリアを記念し、17世紀のモスクワ様式を模して築いた教会です。ヨハネ福音書20:11-17は、イエスは復活の後、最初にマグダラのマリアのところに現れたと記しています。マグダラのマリアはイエスに会い、回心しました。イエスが最も信頼した女性でした。彼女は後日ローマ総督ピラトによるイエスの裁判が不当であった、と時のローマ皇帝ティベリウスに訴え、ピラトを追放させたといわれています。

と き：10月28日(水) 18:00~18:30

ところ：大阪 YMCA 会館4F

出席者：石津、大村、岡本、芝田、藤原、何、三浦、山田、山中の各メン

報告/協議事項

- ① 11/3(火・祝)とさぼりカーニバル ウクレレ出演及びボランティア活動。ウクレレ出演者は10時、大阪YMCA会館604号会議室。12:10出演。
- ② 11/16(月)表コミお茶会開催。出席：メン=石津、大村、何、山中 メネット=中村幸枝、藤井さん
- ③ 11/28(土) 16:30~18:00 中西部YYフォーラム 大阪YMCA会館3階
- ④ 2016年3/26(土) チャリティー・ファミリー・クラシックコンサート 11/6(金) 準備委員会開催。なかのしまクラブ担当者も出席。何会長作成の企画書(案)に基づき、開催内容、収支予算、集客方法、準備日程など詳細を検討。
- ⑤ 次次期中西部長選出の件を検討。

(第2例会議事録より抜粋)



主の“涙の粒”をかたどったといわれる教会=写真その1



マグダラのマリア教会=写真その2

### 第21回チャリティーラン2015開催

10月12日、花博記念公園鶴見緑地特設コースで開催。さわやかな秋晴れのなか、たすきリレー20、グループラン39、10kmラン12名がエントリーし、たくさんの人でにぎわう大会となりました。344万円の支援金が集まり、大阪YMCAの障害児のためのプログラムに活用されます。センテニアルは、三浦、中村茂両メンが表コミの3名の学生とグループランで走り、石津、大村両メンがスタッフとして参加しました。



一緒に走った表コミの生徒さんたち。おじさんはもうヘトヘト



## ニコニコ・メッセージ



【Messages from the Club Members】

### 《会員、メネット、コメントからのメッセージ》

○ワインのよもやま話を聞かせて頂き、楽しい例会でした。

(石津 雅人)

○今日の例会もワインの話、楽しかったです。

(大村 肇)

○野口さんのワインの講義、楽しみにしていました。食べるものを深く知ることができて、人生が豊かになりました。

(岡本 剛介)

○ワインの会、とっても楽しいです。野口さんのお話はとっても勉強になります。

(坂本 千春)

○野口さま、ワインの専門的知識と飲み方のご指導、有難うございます。極めるようひそかに努力します。

(芝田 光雄)

○ワインの話、少し分かってきたような気がします。(谷川 寛)

○星田の吊り橋、次回は挑戦したいので、再びBBQとハイキングの会、計画して下さい。

(中村 幸枝)

○今年も楽しいワイン講習でした。去年よりも少しは知識も増え、質問させて頂いたり、すごく充実した時間でした。有難うございました。

(中村 舞)

○悪玉コレステロール値の高い小生にとり、赤ワインは今後必飲の品になりそうで、個人的に熱心に質問しました。甘い赤ワインがないのが残念ですが、「メルロー種」が飲みやすいとのことですので、夕食の友にしたいと思います。

(藤原 正巳)

○ワインについて少しながら知識を増やすことができました。

野口さん、有難うございました。奥深いものがありますね。

(松浦 孝次)

○美味しいワインを楽しみました。新しいワインは新しい革袋に入れるべき、の意味が少しわかったかな？

(三浦 直之)

○いつもと違った「酒の席？的」ニコニコ例会…薄暗い食卓で、お互いの顔をうかがいつつの食事でもまた違った趣…楽しくもあり、うとうとしくもありますね。…と言いながら機嫌よく食べることができました。

(山田 孝彦)

○野口さん、奥深い知識とエピソードで楽しいディナーを過ごしました。

(山中 秀男)



とさぼりカーニバルで出番を待つ少し緊張気味の面々

## YMCAニュース

### ☆第271回早天祈祷会

日時：11月20日(金) 7:30~8:30

証し：秋田 正人さん(大阪YMCA中期計画推進本部長)

場所：大阪YMCA会館 10階チャペル

### ☆合同祈祷週集会

日時：11月12日(木) 18:30~20:30

場所：関西韓国YMCA 1階ホール

大阪市東成区中道3-14-15

プログラム：第1部=礼拝/第2部=交流会

※第2部の交流会にて、表コミ生が「朗読劇」を発表します。

池田 聡美



まるでソムリエの試験を受けているような真剣な表情

## 後記

11月3日の秋のさわやかな祝日。恒例のとさぼりカーニバルが大阪YMCA会館で開催。今年で15回目。会場に足を一歩踏み入ると、ポップコーンの甘い香り。各種模擬店、キッズランド、ステージパフォーマンスとたくさんの人でにぎわいました。ウクレレバンドも頼もしいコーラス隊とのジョイントで、回を追うごとに上達もいちじるしく、「カイマナヒラ」に始まり、「この木なんの木」「旅愁」「ふるさと」の4曲を熱演。アンコール曲の「アロハオエ」まで用意する余裕。リーダーの芝田メンは「10曲のレパートリーをつくるぞ」と豪語していました。

S.N